

2021年12月15日

各位

会社名 オムニ・プラス・システム・リミテッド
(OMNI-PLUS SYSTEM LIMITED)
代表者名 最高経営責任者 (Chief Executive Officer)
ネオ・プアイ・ケオン
(Neo Puay Keong)
(コード番号: 7699 東証マザーズ)
問合せ先 株式会社 OMNI-PLUS SYSTEM Japan
代表取締役社長 重田 直行
(03-6890-3023)

剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ

当社は、2021年12月15日（シンガポール標準時間。以下同じ）開催の取締役会において、2022年2月28日を当社有価証券信託受益証券（以下「JDR」といいます。）の保有者との関係での基準日（2021年5月25日付「OMNI-PLUS SYSTEM LIMITED 上場外国株信託受益権受益証券発行信託契約及び発行会社にかかる契約書」（以下「本信託契約」といいます。）第19条第1項に規定する権利確定日）とする剰余金の配当（中間配当）を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社のJDRにかかる信託受託者である三菱UFJ信託銀行株式会社及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社（総称して以下「信託受託者」といいます。）は、当社の株主としてかかる剰余金の配当を受領した後、本信託契約に基づき、当該受領した配当を原資としてJDRの保有者に分配金を交付します。

記

1. 配当（分配）の内容

	決定額	直近の 配当予想 (2021年 6月29日)	直近の実績 (2022年3月期)	前期実績 (2021年3月期)
基準日 (権利確定日)	2022年2月28日	-	2021年9月30日	—
1株当たりの 配当金 (JDR1口 当たりの分配金)	0.15米ドル (17円05銭) (注1)	未定	0.0556米ドル (6円)	—
配当金総額	3,158,676.6米ドル (359,078千円) (注2)	-	1,171,600米ドル (133,074千円) (注2)	—
効力発生日	2022年2月28日 (注3)	-	2021年9月30日	—
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金	—

- 注1：括弧内に表示されている金額は便宜上、2021年12月14日現在の三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値に基づき1米ドル=113.68円で換算された金額です。この円換算数値は参考数値であり、JDRの保有者には、配当の効力発生日後のTTBレートにより円貨に変換された金額（但し1株（JDR1口）あたり1円未満は切り捨てられます。）をJDRの総口数で除す方法により信託分配単価（1円未満の端数は切り上げられます。）を算出し、さらに源泉所得税（地方税を含みます。）を控除した残額（1円未満の端数は切り上げられます。）が支払われます。JDR1口当たりの分配金の金額につきましては、決定次第開示いたします。
- 注2：括弧内に表示されている金額は、2021年12月14日現在の三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値に基づき1米ドル=113.68円で換算された金額です。
- 注3：これは株主（信託受託者を含みます。）に対する配当の支払日です。JDRの保有者に対する分配金の支払日は、2022年2月28日以降となる見込みであり、決定次第開示いたします。

2.理由

当社は、利益配分について経営基盤と財務構造を強化しつつ、安定した配当を継続することを基本方針としております。この基本方針に基づき、利益水準、財務状況、将来成長に向けた投資計画等を総合的に勘案した結果、中間配当を行うことといたしました。

なお、当該配当金の支払いが当社の運転資金に大きな影響を与えることはありません。

以 上